



9/24

「役員研修特別講演」開催

「働き方改革の推進」に向け、役員の意識改革を促進

2019年9月24日、大学病院臨床講堂にて、株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長の小室淑恵氏を講師にお迎えし、役員向けに「**信頼の高い組織を作る！働き方改革**」と題した講演を開催しました。この講演は、本学の再生に向け「理事会機能の強化」のために、2019年1月よりこれまで5回実施している役員研修の一環として、開催しました。

働き方改革関連法案の一部が本年4月より施行され、**2024年から医師の時間外労働規制が始まることを受けて**、働き方改革の重要性を改めて役員に認識していただけるよう、社会的背景や改革の手法、取り組み事例等が盛り込まれた内容となりました。

なぜ今「働き方改革」「ダイバーシティ推進」が必要か

小室氏は安倍内閣の民間議員や各省庁の委員を務められ、働き方改革を政府に提言されている方で、日本が、人口ボーナス期(高度経済成長期)から人口オーナス期(少子高齢化社会)へとその人口構造が変化したことによる「**働き方改革の必要性**」、特に「**長時間労働の是正の重要性**」について、わかりやすく解説していただきました。

また、**多様な人材がフラットに議論できる場があること、意思決定層に多様性があることが重要である**とのお話は、現在、本学で林学長が注力している「ダイバーシティ推進」の取り組みについても、改めて貴重な指針となりました。

講演後には、**多くの役員から特に急性期病院でいかに働き方改革を進めていくかについて、活発な質疑応答がなされ**、医師の働き方改革に対する役員の関心の高さがうかがわれました。



質疑応答の様子



講演の様子

林由起子学長の挨拶

【学事担当常務理事】



いかに女性医師が選んでくれるような病院にしていけるかが重要

まさに人口ボーナス期(高度経済成長期)の働き方を続けていたがゆえに、本学では先般の入試で女子学生排除の問題が起きてしまった。

これからは、どこにブレイクポイントがあるかわからないからこそ、**色々な方とディスカッションしながら、多様性の中でイノベーションが生まれるということを実現していけるような組織にしていきたい。**

10/10

「学長とのランチ交流会」開催

2019年10月10日、お昼休憩の時間を活用して「**学長とのランチ交流会**」を開催しました。これは、学長企画プロジェクトチームの企画によるもので、これまで3回開催した「外部役員と教職員の交流会」の参加者アンケートで得られた「**学長との交流会を「お昼休憩の時間に気軽に交流できる場があれば」といった職員の希望を、実現した形になります。**

開始時間になると、**林学長や市原事務局長をはじめ大学職員が続々と集まり、大学病院からもドクターや職員の参加がありました。**お弁当や持ち寄ったお菓子を食べながら、参加者同士、職種や役職の垣根を超えた交流がなされました。

特に、**施設間異動で他部署との交流がまだ浅い職員や、仕事であまり接点のない職員同士が顔を合わせ仕事以外の話ができる機会となり**、会場は常に会話や笑い声が絶えず、とても暖かい雰囲気の中、あっという間に時間が経過しました。

今後も、定期的開催していければと思います。



<参加者の感想(参加者アンケート抜粋)>

- 出入り自由なので、参加しやすかったです。
- 仕事で係わりのなかった人と初めて話すきっかけになった。
- 学長、局長、普段直接お話しする機会がないため少しでもお話しすることが出来たのは良かったです。
- ドクター(違う職種の方)も参加されていたので、よかったです。
- 他部署の人と交流できる良い機会だと思います。
- 病院内で会場を設ければ病院内のスタッフも参加しやすいかなと思います。

[*アンケート結果\(学内専用\) >>](#)